

96 番の歌 神からの貴重な本

ヤコブの臨終の預言から学べること パート 2

「父は彼らのために祝福を願い求めた.....。一人一人にふさわしい祝福だった」。[創世記 49:28](#)

ポイント：ヤコブが 8人の息子について語った預言から、どんなことを学べるでしょうか。

1. この記事では、誰についてのヤコブの預言を考えますか。

ヤコブの息子たちは年老いた父親の周りに集まり、ヤコブが息子たち一人一人に語り掛けるのをじっくり聞いています。前の記事では、ヤコブがルベン、シメオン、レビ、ユダに語った言葉を考えました。息子たちはそれを聞いて興味をそそられ、少し驚いたかもしれません。それで、ほかの8人についてヤコブがどんなことを言うのだろう、と思ったはずです。ではゼブルン、イッサカル、ダン、ガド、アシェル、ナフタリ、ヨセフ、ベニヤミンにヤコブが①どんなことを語つたか、また、②そこから何を学べるか考えましょう。[*ヤコブは、ルベン、シメオン、レビ、ユダには年](#)

上の息子から順に語り掛けましたが、ほかの息子たちについてはそうしませんでした。（なぜ？）

ゼブルン

2. ヤコブはゼブルンにどんなことを言いましたか。その言葉はどのように実現しましたか。（[創世記 49:13](#)）（[囲み](#)も参照。）

2 [創世記 49:13](#) ゼブルンは海辺に、船が止まる岸辺に住む。遠い側はシドンの方に向く。を読む。ヤコブはゼブルンの子孫が約束の地の北の方の海辺に住むことを予告しました。その預言通り、200年以上後にゼブルン族はガリラヤ湖と地中海の間にある土地を与えられました。ゼブルン族は喜んだはずです。領地は2つの水域に近く、貿易に便利な場所だったからです。モーセは「喜べ、ゼブルン、出でいく時に」と預言していました。（[申 33:18](#) ゼブルンについてこう言った。「喜べ、ゼブルン、出でいく時に。喜べ、イッサカル、天幕の中で。）

ヤコブの臨終の預言

⑤

息子

ゼブルン (1-1)

預言

「ゼブルンは海辺に.....住む。遠い側はシドンの方に向く」。[\(創 49:13\)](#)

実現

ゼブルン族はガリラヤ湖と地中海の間にある北方の領地に住んだ。（[ヨシュ 19:10-16](#) 3番目のくじがゼブルンの子孫の氏族のために出た。彼らの土地の境界はサリドまでだった。 11 境界線は西方に上ってマルアラに行き、ダベシエトに、ヨクネアムに面する谷(*ワジ)に達した。 12 またサリド



から東方へ、日の出の方向に向かってキスロト・タボルの境界に進み、ダベラトに出て、ヤファイアに上った。¹³ そこから東方に、日の出の方向に向かってガト・ヘフェルに、エト・カツィンに進み、リモンに出て、ネアに行った。¹⁴ 境界線はその北を回ってハナトンに行き、イフタハ・エルの谷に達した。¹⁵ それに、カタト、ナハラル、シムロン、イドアラ、ベツレヘム。¹⁶ 12の町とその周りの集落。¹⁶ これが、ゼブルンの子孫の氏族が相続していく土地だった。町とその周りの集落である。)

3. 満足するためにはどんな考え方の大切ですか。

3 学べること。私たちは住んでいる場所や置かれている環境に関わりなく幸せでいられます。そのためには、持っているもので満足することが大切です。（[詩 16:6](#) 心地よい場所が私のために測り分けられた。私は自分の財産に満足する。[; 24:5](#) その人はエホバから祝福され、救いの神から正しいと認められる。）でも、私たちはどちらかというと持っていないものの方に注意を向げがちです。それで今自分が持っている良いものに目を向けるようにしましょう。（[ガラ 6:4](#) 一人一人、自分の行いについてよく考えましょう。そうすれば、人と比べて喜ぶのではなく、自分自身のことを喜べます。）

イッサカル

4. ヤコブはイッサカルにどんなことを言いましたか。その言葉はどのように実現しましたか。（[創世記 49:14, 15](#)）（[囲み](#)も参考。）

4 [創世記 49:14, 15](#) イッサカルは骨太なロバ、2つの荷物(c*荷役動物の荷物のこと)の間で身を伏せる。¹⁵ 彼にとって、休み場は良く、土地は好ましい。彼は肩を下げて重い荷を担い、強制労働に服する。を読む。ヤコブはイッサカルを重い荷物を運ぶ骨太なロバに例え、イッサカルがよく働くことを褒めました。また、イッサカルは良い土地を持つようになる、とも言いました。その言葉通り、イッサカルの子孫には、作物がよく育つヨルダン川のそばの土地が与えされました。（[ヨシュ 19:22](#) 境界線はタボル、シャハツマ、ベト・シェメシュに達し、ヨルダン川が終点だった。16の町とその周りの集落。）そこを耕すために一生懸命働いたに違いありません。イッサカル族はほかの人たちを助けるためにも働きました。（[王一 4:7](#) ゾロモンはイスラエル全体に12人の代官を置き、王とその家の人たちに食料を供給させた。各代官には、年に1カ月分の食料を供給する責務があった。¹⁷ イッサカルにパルアハの子エホシャファト。）例えばイスラエルが戦う時、イッサカル族は進んで加勢しました。裁き人バラクと女預言者デボラの時代に戦いが起きた時も、喜んで力を貸しました。（[裁 5:15](#) イッサカルの高官たちはデボラと共におり、イッサカルと同じようにバラクも共にいた。バラクは谷あいの平原に向かった。ルベンの人たちの間では、激しい心の葛藤があった。）

ヤコブの臨終の預言

(6)

息子

イッサカル (1-2)



預言

「彼は肩を下げて重い荷を担[う]」。 (創 49:14, 15)

実現

イッサカル族はイスラエル国民のために一生懸命働いた。 (裁 5:15。王一 4:1 ソロモン王はイスラエル全体を治めた。, 7, 17) (** 洞-1 「イッサカル」 2項 6節 **イッサカルはソロモンの宮廷を支えるために自分たちの割り当て分 (年間の必要量の 12 分の 1) を供給しました。—王一 4:1, 7, 17。)

5. 私たちが一生懸命働きたいと思うのはどうしてですか。

5 学べること。エホバはイッサカル族がよく働くことを喜びました。同じように、私たちがエホバのためによく働くときに喜んでくれます。 (伝 2:24 食べ、飲み、一生懸命働く充実感、人にとってこれ以上の幸せはない。私はこれもまた、真の神からのものだと気付いた。) 会衆には、仲間のために心を込めて働いている長老たちがいます。 (テモ一 3:1 次の言葉は真実です。監督になろうと努めている人は、立派な仕事を望んでいます。) 長老たちは、みんなをサタンの悪い影響から守るために一生懸命働いています。 (コリ一 5:1 私は皆さんの中で性的不道徳が行われていると聞いています。異国の人々の間にさえ見られないような性的不道徳で、自分の父親の妻を自分のものにしている人がいるとのことです, 5 そのような人をサタンに引き渡して悪い影響力を除き去らなければなりません。主の日に会衆の健全な精神が守られるようにするためです。ユダ 17-23 愛する皆さん、主イエス・キリストの使徒たちが以前に語った言葉(*予告した事柄)を思い出してください。 18 こう言っていました。「終わりの時には、あざける人たちが現れ、神を敬わずして欲望のままに行動します」。 19 こうした人々は、分裂を引き起こす動物的な人(*欲望のままに生きる人)で、神に導かれて(*神の聖なる力を持って)いません。 20 しかし、愛するさんは、極めて聖なる信仰によって自分を力づけ、神の聖なる力(*)に導かれつつ祈ってください。 21 私たちの主イエス・キリストの憐れみによる永遠の命を待ちながら、神に愛され続けるためです。 22 また、疑いを抱いている人たちに引き続き憐れみを示してください。 23 火の中からつかみ出して救うのです。ほかの人たちにも引き続き憐れみを示しましょう。とはいえ、用心しながらそうしてください。悪い行いによって汚れた服をさえ、憎まなければなりません。) 会衆の人たちを力づける話をするためによく準備し、心に響く教え方を心掛けます。 (テモ一 5:17 立派に監督している長老たち、とりわけ一生懸命に話したり教えたりしている人々は、深い(d*2倍の)敬意を受けるに値します。)

ダン

6. ダン族にはどんな役割がありましたか。 (創世記 49:17, 18) (囲みも参照。)

6 創世記 49:17, 18 ダンは道端の蛇、道沿いの角蛇となれ。馬のかかとをかんで乗り手を後ろへ落とすのだ。 18 エホバ、私はあなたの救いを待つ。を読む。ヤコブはダンを、馬や乗り手など自分よりずっと大きな敵を攻撃する蛇に例えました。ダンがイスラエルの敵たちにとって危険な存在になるということです。約束の地に向かう途中、ダン族は「後衛」を務めてイスラエルを守

りました。 (民 10:25 次に、ダンの子たちの宿営を含む分隊が、宿営全体の後衛となり、グループごとに出発した。アミシャダイの子アヒエゼルがダン族を率いた。) ほかの部族は後ろにいるダン族のことをそれほど気に留めなかつたかもしませんが、後衛はとても大切な仕事でした。

ヤコブの臨終の預言

(7)

息子

ダン (1-3)

預言



「ダンは……馬のかかとをか[む]」。 (創 49:16-18 ダンはイスラエルの1部族として民を裁く。 17 ダンは道端の蛇、道沿いの角蛇となれ。馬のかかとをかんで乗り手を後ろへ落とすのだ。 18 エホバ、私はあなたからの救いを待つ。)

実現

約束の地に向かう時、ダン族は「後衛」を務めた。 (民 10:25 次に、ダンの子たちの宿営を含む分隊が、宿営全体の後衛となり、グループごとに出発した。アミシャダイの子アヒエゼルがダン族を率いた。)

7. エホバのために働くとき、どんなことを覚えておくといいですか。

1 学べること。ほかの人からはほとんど気付かれないような奉仕をしたことがありますか。王国会館の掃除やメンテナンス、大会での奉仕を手伝ったことがあるかもしれません。それはとても立派なことです。エホバのためにするどんなことも、エホバは気付いていて喜んでくれます。人から褒められようとしてではなく、エホバへの愛にあふれて奉仕するとき、エホバは特に喜んでくれます。 (マタ 6:1-4 注目されようとして人前で善行をすることがないように注意しなさい。 そうでないと、天にいる父からの報いはありません。 2 それで、憐れみの施しをするとき、偽善者たちが人から称賛を受けようとして会堂や街路するように、施す前にラッパを吹いてはなりません。はっきり言いますが、その人たちは報いを全部得てしまっています。 3 憐れみの施しをするときには、右手がしていることを左手に知らせてはなりません。 4 憐れみの施しをひそかにするためです。そうすれば、ひそかに見ている父が報いてくださいます。)

ガド

8. ガド族が敵の襲撃を受けやすかったのはどうしてですか。 (創世記 49:19) (囲みも参照。)

8 創世記 49:19 ガドは略奪隊に襲われる。だが、彼らのかかとに襲い掛かる。を読む。ヤコブは、ガドが略奪隊に襲われると予告しました。200年以上後にガド族に与えられたヨルダン川東側の領地は、敵の国々と境界を接していました。敵の襲撃を受けやすい場所でした。でも、家畜を飼育するのにぴったりの土地でもあったので、ガド族はそこに住みたいと思いました。 (民 32:1 ルベンの子たちとガドの子たちは非常に多くの家畜を持っていました。そしてヤゼルやギレアデの土地を見ると、そこは家畜に適した場所だった、5 さらにこう言った。「私たちがあなたの好意を得てましたら、この土地を私たちの所有地としてお与えください。私たちがヨルダン川を渡らな

くてもよいようにしてください」。) ガド族は勇敢な人たちだったに違いありません。でもそれ以上に、強い信仰を持っていました。神から与えられた土地を略奪隊から守ろうとする自分たちをエホバが必ず助けてくれる、と信じていました。ヨルダン川の西側の土地をほかの部族が取得できるように、何年も兵士たちを送り出すこともしました。(民 32:16-19)その後、彼らはモーセの所に来て、こう言った。「ここに、家畜のために石囲いを、子供たちのために町を造らせてください。 17 それでも、私たちは戦う態勢を保ち、イスラエル人を皆彼らの場所に連れていくまで、先頭を行きます。その間、私たちの子供たちは防備された町にいて、この土地の住民から守られます。 18 私たちは、イスラエル人がそれぞれ自分の土地を得るまでは家に帰りません。 19 とはいっても、ヨルダン川の向こう側で彼らと一緒に土地を得ることはしません。ヨルダン川の東側で土地を得ているからです」。) ガド族は男性たちが戦いに行っている間、妻や子供をエホバが守ってくれることも信じていました。自分を犠牲にして勇敢に仲間を助けるガド族のことを、エホバは確かに守りました。(ヨシュ 22:1-4) ヨシュアはルベン族とガド族、マナセ族の半分を呼んで、 2 こう言った。「皆さんは、エホバの奉仕者モーセが命じた全てのことを行いました。私が命じた全てのことにも従いました。 3 今日までずっと、皆さんは兄弟たちを見捨てず、エホバ神のおきてを守ってきました。 4 エホバ神は、約束通り皆さんのが兄弟たちが安心して住めるようにしてくださいました。それで、自分たちの天幕に、エホバの奉仕者モーセがヨルダン川の向こう側(c*東側のこと)で皆さんに与えた土地に戻りなさい。)

ヤコブの臨終の預言

(8)

息子

ガト (2-1)

預言

「ガドは略奪隊に襲われる」。(創 49:19 ガドは略奪隊に襲われる。だが、彼らのかかとに襲い掛かる。)

実現

ガド族は敵の襲撃を受けやすいヨルダン川の東側に住んだ。(ヨシュ 13:24-28) モーセは、ガド族の氏族が相続していく土地も与えた。 25 彼らの領地は、ヤゼル、ギレアデの全ての町、ラバに面するアロエルまでのアンモン人の土地の半分を含んでいた。 26 ヘシュボンからラマト・ミツペとベトニムまで、またマハナイムからデビルの境界まで。 27 谷(*谷あいの平原)には、ベト・ハラム、ベト・ニムラ、スコト、ツアフォンがあり、これらはヘシュボンのシホン王の領土の残りで、キネレト湖(c*ゲネサレ湖つまりガリラヤ湖のこと)の下端からヨルダン川を境界としてその東側である。 28 以上が、ガド族の氏族が相続していく土地で、町や集落もあった。)



9. エホバを信頼していることは、私たちの生き方にどのように表れますか。

9 学べること。問題があってもエホバに仕え続けるためには、エホバを信頼することがどうしても必要です。(詩 37:3 エホバに頼り、善を行え。地上に住み、忠実に歩め。) 今でも、エホバを信頼して献身的に働いている兄弟姉妹がいます。建設プロジェクトに参加したり、もっと奉仕者が必要な場所に引っ越したり、ほかにもいろいろな奉仕に取り組んだりしている人がいます。そ

ういう兄弟姉妹は、エホバがいつも養い支えてくれると心から確信しています。 (詩 23:1 エホバは私の牧者。私は何も不足しない。)

アシェル

10. アシェル族はどんな失敗をしましたか。 (創世記 49:20) (囲みも参照。)

10 創世記 49:20 アシェルのパン(*食物)は豊かになる。彼は王にふさわしい食事を出す。 を読む。ヤコブはアシェル族が裕福になると予告し、実際にその通りになりました。アシェル族の領地には、イスラエルの中でも特に肥沃な土地が含まれていました。 (申 33:24 アシェルについてこう言った。 「アシェルは子供を授かり、祝福される。彼が兄弟たちの好意を受け、足を油に浸しますように。) そこは地中海に面していて、非常に栄えていたシドンという貿易港がありました。でもアシェル族は、自分たちの土地からカナン人を追い出しませんでした。 (裁 1:31, 32 アシェル族は、アコの住民とシドンの住民と、アフラブ、アクジブ、ヘルバ、アフィク、レホブの住民を追い出しなかった。 32 アシェル族は、その土地に住むカナン人の間に住み続けた。彼らを追い出しなかったからである。) 裕福になったことと、カナン人の悪い影響を受けたことが原因で、エホバの望むことをしたいという気持ちは弱くなっています。裁き人バラクからカナン人との戦いに参加するよう呼び掛けられた時、応じませんでした。そのため、「メギドの流れのそば」での奇跡的な勝利を目撃できませんでした。 (裁 5:19-21 王たちが来て戦った。その時、カナンの王たちは戦った。メギドの流れのそばのタアナクで。銀の戦利品は得られなかった。 20 星が天から戦い、その軌道からシセラと戦った。 21 キションの激流(*川)が彼らを流し去った。昔からの激流(*川)、キションの激流(*川)が。私は強力な者たちを踏みつけた。) それでアシェル族は、バラクとデボラが勝利の歌の中で、「アシェルは海辺で何もせずに座[って]いた」と歌うのを聞いて恥ずかしく思ったに違いありません。 (裁 5:17 ギレアデはヨルダン川の向こうにとどまっていた。ダンはなぜ船の近くにいたのか。アシェルは海辺で何もせずに座り、港(*波止場)のそばにとどまっていた。)

ヤコブの臨終の預言

(9)

息子

アシェル (2-2)

預言

「アシェルのパンは豊かになる」。 (創 49:20 アシェルのパン(*食物)は豊かになる。彼は王にふさわしい食事を出す。)

実現

アシェル族は約束の地で裕福になった。 (申 33:24 アシェルについてこう言った。 「アシェルは子供を授かり、祝福される。彼が兄弟たちの好意を受け、足を油に浸しますように。)



11. お金や物に対してバランスの取れた考え方をすることが大切なのはどうしてですか。

11 学べること。私たちはベストを尽くしてエホバに奉仕したいと思います。世の中の多くの人のように、お金や物が一番大切という考え方をしてはいけません。（[格 18:11](#) 裕福な人の富はその人の要塞。その人の想像の中では防壁である。）お金に対してバランスの取れた考え方をすることが大切です。（[伝 7:12](#) お金は身の守りであり、知恵も身の守りである。しかし知識や知恵の利点は、人の命を保たせることだ。[ヘブ 13:5](#) お金を愛するような生き方をせず、今あるもので満足しましょう。神はこう言っています。「私は決してあなたを離れず、決してあなたを見捨てない」。）本当に必要ではないものを手に入れるために一生懸命働いて、エホバへの奉仕がおろそかになってしまわないようにしましょう。自分の時間やエネルギーをエホバのために最大限使うようにしましょう。エホバは私たちが将来、安心できる素晴らしい暮らしを送れる、と約束しているからです。（[詩 4:8](#) 私は横になって穏やかに眠ります。エホバ、あなただけが私を安心して暮らせるようにしてくださいます。）

ナフタリ

12. ナフタリについての預言はどのように実現しましたか。（[創世記 49:21](#)）（[囲み](#)も参照。）

12 [創世記 49:21](#) ナフタリはすらりとした雌鹿。優美な言葉を話す。を読む。ヤコブはナフタリが「優美な言葉」を話すと言いました。イエスが宣教期間中、どんな話し方をするかを預言していくのかもしれません。イエスは教えるのがとても上手でした。そしてナフタリ族の領地カペルナウムで多くの時間を過ごしたので、そこは「自分の町」と表現されています。（[マタ 4:13](#) さらに、ナザレを去ってから、ゼブルンとナフタリの地域にある湖のほとりのカペルナウムに来て住んだ；[9:1](#) イエスは舟に乗って対岸に渡り、自分の町に来た。[ヨハ 7:46](#) 下役たちは答えた。「どのように話した人はこれまでいませんでした」。）イザヤはイエスが「大きな光」のような存在になり、その光をゼブルンとナフタリの人たちが見る、と予告しました。（[イザ 9:1, 2](#) しかし、陰鬱さは、土地が苦難に見舞われた時のようにではなくなる。かつてゼブルンの土地とナフタリの土地が辱められた時のようにではなくなる。後に神は、海沿いの道、ヨルダン地方、異国の人々のガリラヤがたたえられるようにする。2闇の中を歩んでいた民は、大きな光を見た。深い陰の地に住んでいた人たちの上に、光が輝いた。）イエスは大切なことを教え、「どんな人にも光を与える真の光」になりました。（[ヨハ 1:9](#) どんな人にも光を与える真の光は、世に来ようとしていた。）

ヤコブの臨終の預言

⑩

息子

ナフタリ (2-3)

預言

「ナフタリは……優美な言葉を話す」。（[創 49:21](#) ナフタリはすらりとした雌鹿。優美な言葉を話す。実現）

イエスはナフタリ族の領地を拠点に伝道した。（[マタ 4:13](#) さらに、ナザレを去ってから、ゼブルンとナフタリの地域にある湖のほとりのカペルナウムに来て住んだ；[9:1](#) イエスは舟に乗って対岸に渡り、自分の町に来た。）



13. どんなことを話すとエホバに喜んでもらえますか。

13 学べること。私たちが何をどのように言うかにエホバは関心を持っています。どうすればエホバに喜んでもらえるような「優美な言葉」を話せるでしょうか。うそをついたりせず、いつも本当のことを話すことです。 (詩 15:1, 2 エホバ、あなたの天幕にとどまる(*でもてなされる)のは誰ですか。あなたの聖なる山に住むのは誰ですか。 2 非難されるところがなく(*忠誠を尽くし), 正しいことを行い, 心に真実を語る人。) また, 批判したり文句を言ったりするのではなく, よく褒めることによって人を元気づけられます。 (エフェ 4:29 不快な(d*腐った)言葉を口から出してはなりません。その場に合った励ましの言葉を述べて, 聞く人のためになるようにしましょう。) 自然に会話を切り出して良い知らせを伝えることも目指せます。

ヨセフ

14. ヨセフについての預言はどのように実現しましたか。 (創世記 49:22, 26) (囲みも参照。)

14 創世記 49:22 ヨセフは実を結ぶ木の枝, 泉のそばで実を結ぶ木の枝。その木の枝は壙を越えて伸びる, 26 あなたの父の祝福は永続する山の祝福に勝り, 永久にある丘の恩恵に勝る。祝福はヨセフの頭に, 兄弟たちの中から選び出された者の頭のてっぺんにとどまる。を読む。ヤコブはヨセフのことをとても誇りに思っていたに違いありません。ヨセフがエホバによって「兄弟たちの中から選び出された者」だったからです。ヤコブはヨセフのことを「実を結ぶ木の枝」と言いました。ヤコブが木で, ヨセフはその木の枝, という意味です。ヨセフはヤコブの最愛の妻ラケルの長男でした。ヤコブの長男はレアから生まれたルベンでしたが, 長男が受けるはずの2倍の財産を受けられなくなりました。ヤコブによると, ヨセフがその財産を受けます。 (創 48:5, 6 私がエジプトのあなたの所に来る前にエジプトであなたに生まれた2人の息子は, 私のものだ。エフライムとマナセは, ルベンやシメオンと同じように, 私のものになる。 6 しかし, 彼らの後にあなたに生まれる子はあなたのものだ。その子たちは兄弟たちの相続地に住み, 兄弟たちの名前で呼ばれる。代一 5:1, 2 以下はイスラエルの長男ルベンの子についてである。長男ルベンは父のそばめと寝た(d*のベッドを汚した)ため, 長男の権利がイスラエルの子ヨセフの子たちに与えられた。それで, 系譜には長男の権利を持つ者としては記録されていない。 2 ユダはほかの兄弟たちよりも勝っていて, 指導者になる者がユダから出たが, 長男の権利はヨセフのものだった。) この預言はどのように実現したでしょうか。ヨセフの息子エフライムとマナセはそれぞれの子孫が部族になり, こうして2つの部族が領地を受けました。 (創 49:25 ヨセフは父の神から出る者。神はあなたを助ける。ヨセフは全能者と共にいる。神はあなたを祝福する。上は天からの祝福, 下は深みからの祝福, そして乳房と母胎の祝福。ヨシュ 14:4 ヨセフの子孫はマナセとエフライムの2つの部族と見なされた。レビ族には, 住む町と家畜や所有物のための牧草地以外は, 土地は割り当てられなかった。)

ヤコブの臨終の預言

(11)

息子

ヨセフ (3-1)



預言

「祝福は……兄弟たちの中から選び出された者……にとどまる」。 ([創 49:22-26](#) ヨセフは実を結ぶ木の枝、泉のそばで実を結ぶ木の枝。その木の枝は岸を越えて伸びる。 23 だが、弓を射る人たちが彼を攻めて狙い撃ち、敵意を抱き続けた。 24 それでも彼の弓は準備が整っており、彼の手は常に力強くしなやかだった。それは、ヤコブの強力な者の手、イスラエルの石である牧者による。 25 ヨセフは父の神から出る者。神はあなたを助ける。ヨセフは全能者と共にいる。神はあなたを祝福する。上は天からの祝福、下は深みからの祝福、そして乳房と母胎の祝福。 26 あなたの父の祝福は永続する山の祝福に勝り、永久にある丘の恩恵に勝る。祝福はヨセフの頭に、兄弟たちの中から選び出された者の頭のてっぺんにとどまる。)

実現

ヨセフは長男の権利を与えられた。2人の息子はそれぞれ1つの部族になった。 ([ヨシュ 14:4](#) ヨセフの子孫はマナセとエフライムの2つの部族と見なされた。レビ族には、住む町と家畜や所有物のための牧草地以外は、土地は割り当てられなかった。[代一 5:1, 2](#) 以下はイスラエルの長男ルベンの子についてである。長男ルベンは父のそばめと寝た(d*のベッドを汚した)ため、長男の権利がイスラエルの子ヨセフの子たちに与えられた。それで、系譜には長男の権利を持つ者として記録されていない。2ユダはほかの兄弟たちよりも勝っていて、指導者になる者がユダから出たが、長男の権利はヨセフのものだった。)

15. ヨセフは理不尽な扱いを受けた時、どうしましたか。

15 ヤコブは「弓を射る人たちが[ヨセフ]を……狙い撃ち、敵意を抱き続けた」とも言いました。 ([創 49:23](#) だが、弓を射る人たちが彼を攻めて狙い撃ち、敵意を抱き続けた。) 「弓を射る人たち」とはヨセフをねたんだ兄たちのことで、ヨセフは兄たちから何度も理不尽な扱いを受けました。でも、兄たちを憎むこともエホバを恨むこともありませんでした。ヤコブがこう言っている通りです。「[ヨセフ]の弓は準備が整っており、彼の手は常に力強くしなやかだった」。 ([創 49:24](#) それでも彼の弓は準備が整っており、彼の手は常に力強くしなやかだった。それは、ヤコブの強力な者の手、イスラエルの石である牧者による。) ヨセフは苦しい時もエホバに頼り、兄たちを許し、親切にしました。 ([創 47:11, 12](#) こうしてヨセフは、ファラオの命令通り、父と兄弟たちをエジプトに住ませ、最も良い地域であるラメセスにある土地を与えた。 12 そして父と兄弟たちと父の家全体に、子供の数に応じて食糧を供給し続けた。) つらい経験を通してヨセフの内面は磨かれました。 ([詩 105:17-19](#) 神は彼らに先立って1人の人を遣わした。それは奴隸として売られたヨセフ。 18 足かせをはめられ(*で足を痛めつけられ)、首は鉄でつながれた。 19 エホバの言葉が彼を磨き上げた(*精錬した)。語った言葉が実現する時まで。) そのようにしてヨセフは、エホバから与えられた大きな責任を担えるようになりました。

16. 大変な時、どのようにヨセフに倣えますか。

16 学べること。つらい目に遭っても、エホバや仲間の兄弟姉妹から離れてしまわないようにしましょう。信仰が試されるようなときもエホバに仕え続けるなら、エホバが訓練してくれます。 ([ヘブ 12:7](#) 皆さんは矯正(*訓練)の一環として忍耐する必要があります。神は皆さんを子として扱っています。父親から矯正を受けない子がいるでしょうか、脚注) そのような訓練により、クリ

スチャンとして自分の内面を磨くことができ、気持ちよく人を許せる優しい人になります。（シブ 12:11 確かに、どんな矯正も、その時は喜ばしいものに思えず、痛みを伴います(*耐え難いものです)。しかし後に、それによって訓練された人は平和を味わい(d*平和な実を結び)ます。正しく生きられるようになるのです。）エホバは辛抱したヨセフに報いたように、苦しい中でも頑張る私たちにも報いてくださいます。

ベニヤミン

17. ベニヤミンについての預言はどのように実現しましたか。（創世記 49:27）（囲みも参照。）

17 創世記 49:27 ベニヤミンはオオカミのようにかみ裂く。朝には獲物を食い、晩には奪った物を分ける」。を読む。ヤコブは、ベニヤミン族がオオカミのような強い戦士になることを預言しました。（裁 20:15, 16 その日、ベニヤミン族はギベアの精銳 700 人のほかに、剣を帯びた 2 万 6000 人を町々から招集した。16 この軍隊には左利きの精銳 700 人がいた。皆、石投げ器で髪の毛 1 本を狙って外さない人たちだった。代一 12:2 彼らは弓で武装し、右手でも左手でも石を投げたり矢を放ったりできた。サウルの兄弟(c*同じ部族ということ)で、ベニヤミン族だった。）イスラエル王国の「朝」、つまり王国の歴史の初めにベニヤミン族のサウルがイスラエルの最初の王になりました。サウルはフィリスティア人と勇敢に戦いました。（サム一 9:15-17 サウルが来る前の日に、エホバはサムエルにこう言って(d*の耳の覆いを外して)いた。16 「明日の今ごろ、ベニヤミンの土地から 1 人の人をあなたの所に遣わす。あなたはその人に油を注いで(c*用語集の「油を注ぐ」参照)私の民イスラエルの指導者としなければならない。その人はフィリスティア人から私の民を救う。私は民の苦悩を見、民の叫びが私のもとに届いたのである」。17 サムエルがサウルを見ると、エホバは言った。「『私の民を治める(*制御する)人』と私があなたに言ったのは、この人のことだ」、21 サウルは言った。「私はイスラエルの部族の中で最も小さいベニヤミン族の者で、私の氏族はベニヤミン族の中で最も取るに足りない氏族です。それなのに、どうしてこのようなことを私に話されるのですか」。）イスラエルの歴史の「晩」ともいえる時期に、ベニヤミン族の王妃エステルと首相モルデカイが、ペルシャ帝国で全滅の危機にさらされたイスラエル人を救いました。（エス 2:5-7 シュシャン城に、モルデカイという名前のユダヤ人がいた。その父はヤイル、祖父はシムイ、曾祖父はキシュだった。この人はベニヤミン族の人で、6 バビロンのネブカドネザル王が捕られたユダのエコニヤ(c*王二 24:8 ではエホヤキン)王と共に、エルサレムから強制移住させられた民の 1 人だった。7 モルデカイは、おじの娘であるハダサ(c*エステルのヘブライ語名で、「ギンバイカ」という意味)つまりエステルの保護者(*養育者)だった。エステルには父も母もいなかったからである。この若い女性は容姿が美しく、父と母が死んだ時にモルデカイに養女として引き取られた。8:3 エステルは再び王に話した。王の足元にひれ伏して、アガグ人ハマンの悪事とユダヤ人に対する企てを終わらせてくれるよう、涙ながらに王に嘆願した。10:3 ユダヤ人モルデカイは、アハシュエロス王に次ぐ地位にあったのである。また、ユダヤ人の間で偉大な人で(*重んじられ)、大勢の兄弟たちから尊敬され、自分の民族の幸せのために働き、子孫全ての福祉を推進した。）

ベニヤミン (3-2)

預言

「ベニヤミンは……朝には獲物を食い、晩には奪った物を分ける」。 (創 49:27 ベニヤミンはオオカミのようにかみ裂く。朝には獲物を食い、晩には奪った物を分ける」。)

実現

サウルがイスラエルの最初の王になった。 (サム一 9:15-17 サウルが来る前日に、エホバはサムエルにこう言って(d*の耳の覆いを外して)いた。 16 「明日の今ごろ、ベニヤミンの土地から1人の人をあなたの所に遣わす。あなたはその人に油を注いで(c*用語集の「油を注ぐ」参照)私の民イスラエルの指導者としなければならない。その人はフィリスティア人から私の民を救う。私は民の苦悩を見、民の叫びが私のものとに届いたのである」。 17 サムエルがサウルを見ると、エホバは言った。 「『私の民を治める(*制御する)人』と私があなたに言ったのは、この人のことだ」。)

何百年も後、エステルとモルデカイがイスラエル人を救った。 (エス 2:5-7 シュシャン城に、モルデカイという名前のユダヤ人がいた。その父はヤイル、祖父はシムイ、曾祖父はキシュだった。この人はベニヤミン族の人で、6バビロンのネブカドネザル王が捕らえたユダのエコニヤ(c*王二24:8ではエホヤキン)王と共に、エルサレムから強制移住させられた民の1人だった。7モルデカイは、おじの娘であるハダサ(c*エステルのヘブライ語名で、「ギンバイカ」という意味)つまりエステルの保護者(*養育者)だった。エステルには父も母もいなかったからである。この若い女性は容姿が美しく、父と母が死んだ時にモルデカイに養女として引き取られた; 8:3 エステルは再び王に話した。王の足元にひれ伏して、アガグ人ハマンの悪事とユダヤ人に対する企てを終わらせてくれるよう、涙ながらに王に嘆願した; 10:3 ユダヤ人モルデカイは、アハシュエロス王に次ぐ地位にあったのである。また、ユダヤ人の間で偉大な人で(*重んじられ)，大勢の兄弟たちから尊敬され、自分の民族の幸せのために働き、子孫全ての福祉を推進した。)

18. エホバにしっかり付いたベニヤミン族にどのように倣えますか。

18 学べること。ベニヤミン族は自分の部族から王が誕生して誇らしく思ったことでしょう。でもエホバが王権をユダ族のダビデに移した後は、ダビデを支持するようになりました。 (サム二3:17-19 アブネルはイスラエルの長老たちと連絡を取り、こう言った。「あなたたちは以前から、ダビデに王になってほしいと願ってきました。 18 それで今、そうしなさい。エホバはダビデにこう言いました。『私は、私に仕えるダビデの手によって、フィリスティア人など全ての敵から私の民イスラエルを救う』」。 19 それからアブネルはベニヤミン族の人たちと話した。ヘブロンに行ってダビデとも個人的に話し、イスラエルとベニヤミン族全体が同意した事柄を伝えた。) 何十年も後にイスラエルの10部族が反逆した時も、ユダ族と、エホバが選んだ王にしっかり付きました。 (王一 11:31, 32) アヒヤはヤラベアムに言った。「10切れを取りなさい。イスラエルの神エホバはこう言っています。『私はソロモンから王国を引き裂いて取り上げ、10部族をあなたに与える。 32 だが、私に仕えたダビデのため、また私がイスラエルの全部族の領地から選んだ都市エルサレムのために、1つの部族は引き続き彼のものとなる; 12:19 こうしてイスラエル人はダビデ家に反抗し、今に至っている、21 ソロモンの子レハベアムはエルサレムに着くと、直ちにユダ



族全体とベニヤミン族の中から訓練された戦士 18 万人を集めた。王権を取り戻すため、イスラエルの民と戦おうとしたのである。) 私たちも、エホバが教え導くために選んだ人たちに心から協力したいと思います。 (テサ一 5:12 兄弟たち、次のことをお願いします。皆さんの中で一生懸命に働き、主に仕えつつ皆さんを監督し助言を与えている人たちに、敬意を払ってください。)

19. ヤコブの臨終の預言について考えるとよいのはどうですか。

19 ヤコブの臨終の預言からたくさん学べます。①その預言がどのように実現したかを考えると、聖書の預言は全てその通りになるという信仰が深まります。また、②ヤコブが息子一人一人に語った祝福の言葉から、エホバがどんな人を愛し、大切にするかが分かります。

ヤコブが息子に語った言葉からどんなことを学べますか

1. ゼブルン、イッサカル、ダン

- ・ S03 ゼブルン：私たちは住んでいる場所や置かれている環境に関わりなく幸せでいられます。そのためには、持っていないものの方に注意を向けず、持っているもので満足することが大切
- ・ S05 イッサカル：エホバはイッサカル族がよく働くことを喜んだように、私たちがエホバのためによく働くときに喜んでくれる。会衆には、仲間のために心を込めて働いている長老たちがおられる。
- ・ S07 ダン：王国会館の掃除やメンテナンス、大会での奉仕など、エホバのためにするどんなことも、エホバは気付いていて喜んでくれる。人から褒められようとしてではなく、エホバへの愛にあふれて奉仕するとき、エホバは特に喜んでくださる。

2. ガド、アシェル、ナフタリ

- ・ S09 ガド：問題があってもエホバに仕え続けるためには、エホバを信頼することがどうしても必要。今でも、いつも養い支えてくれると心から確信して、建設プロジェクトに参加したり、もっと奉仕者が必要な場所に引っ越したりして献身的に働いている兄弟姉妹がいる。
- ・ S11 アシェル：お金に対してバランスの取れた考え方をして、私たちもベストを尽くしてエホバに奉仕したい。
- ・ S13 ナフタリ：私たちが何をどのように言うかにエホバは関心を持っているので、いつも本当のことを話してエホバに喜んでもらえるような「優美な言葉」を話せる。批判したり文句を言ったりするのではなく、よく褒めることによって人を元気づけ、自然に会話を切り出して良い知らせを伝えられる。

3. ヨセフ、ベニヤミン

- ・ S16 ヨセフ：つらい目に遭っても、エホバや仲間の兄弟姉妹から離れてしまわないようにできる。信仰が試されるようなときもエホバに仕え続けるなら、エホバが訓練してください。そのような訓練により、クリスチャンとして自分の内面を磨くことができ、気持ちよく人を許せる優しい人になり、エホバからの報いを受けられる。
- ・ S18 ベニヤミン：ベニヤミン族は自分の部族から王が誕生して誇らしく思ったが、エホバが王権をユダ族のダビデに移しても、ダビデを支持した。何十年も後にイスラエルの 10 部族が反逆した時も、ユダ族と、エホバが選んだ王にしっかり付いた。何百年も後、エステルとモルデカイがイスラエル人を救った。